

## 技術委員会報告

### ～JFA フットボールフューチャープログラムトレセン研修会 U-12～

2017年8月2日(水)から8月6日(日)まで今年も静岡県御殿場市と裾野市で開催された「JFA フットボールフューチャープログラム／トレセン研修会 U-12 (以下 FFP)」に山口 FA 技術委員会による視察を行いました。

視察は本年度で2回目となり、昨年度から4種リーグ研修会などで成果と課題を共有して本県のレベルアップに役立てています。レポートは次のとおりです。

#### ○成果：守備の改善

昨年度、4種リーグ研修会で共有した「GKからのビルドアップ」については、大きな改善が図られ、積極的なチャレンジが行われていました。

また FFP 期間中に、守備面、特に「積極的にボールを奪う」ためのチャレンジが不足していたため、スタッフ、選手が守備面の改善に取り組み「予測をして意図的にボールを奪う」ことにチャレンジしている良い場面を観ることができました。また、奪ったボールを確実に攻撃（ゴール）につなげる場面も多く観られるようになりました。今回の経験を基に、県内でハイプレッシャーの中でのトレーニングやゲームを伝え、続けていくことで、「よい習慣」が身につくことが期待できます。



#### ●課題：パス&コントロール

個人の技術に目を向けてみると、トップレベルの選手と比較して基本技術に差がありました。具体的にはキックの精度やパススピード、観る習慣と正確で判断を伴うファーストタッチ、ボールコントロールなど、日々のトレーニングで求めるレベルを一段階高める必要があると感じました。

#### ☆今後に向けて

今回の研修会で、本県のゲーム中、ベンチからのコーチングで選手が改善されたシーンが見受けられました。県内指導者のレベルが高まっていることがこの視察で確認できました。

技術委員会では、今後、4種リーグ指導者研修会やリフレッシュ研修会などで、県内指導者と成果と課題を共有し、本県サッカーのレベルアップに努めます。猛暑の中、4泊5日の長期プログラムに参加された選手、スタッフのみなさんお疲れ様でした。この経験を各地域、チームで生かしていただけることを期待しています。

(文責 47FA チーフインストラクター)